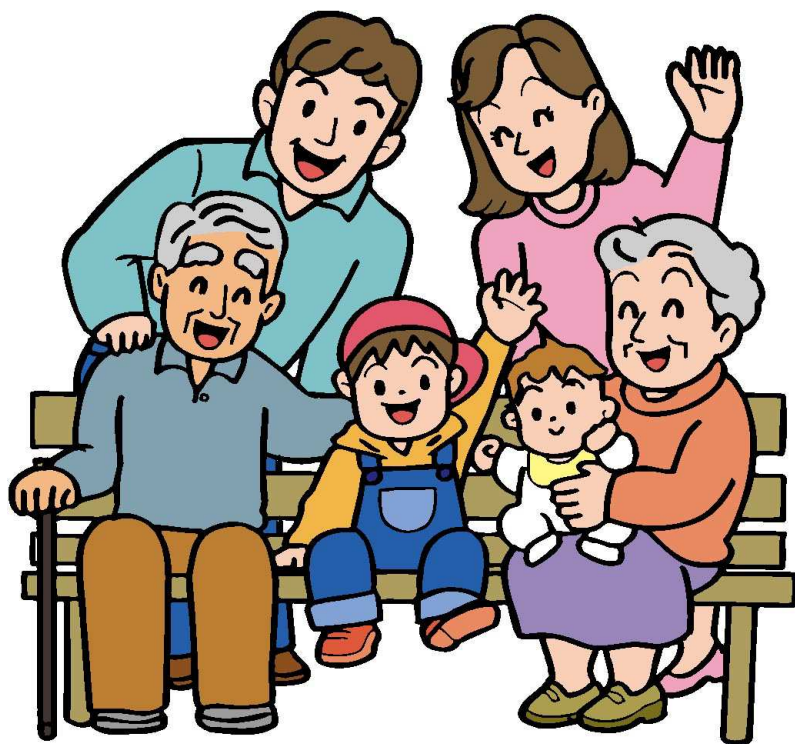


平成27年度予算概要

「安全・安心」「魅力」「健康」

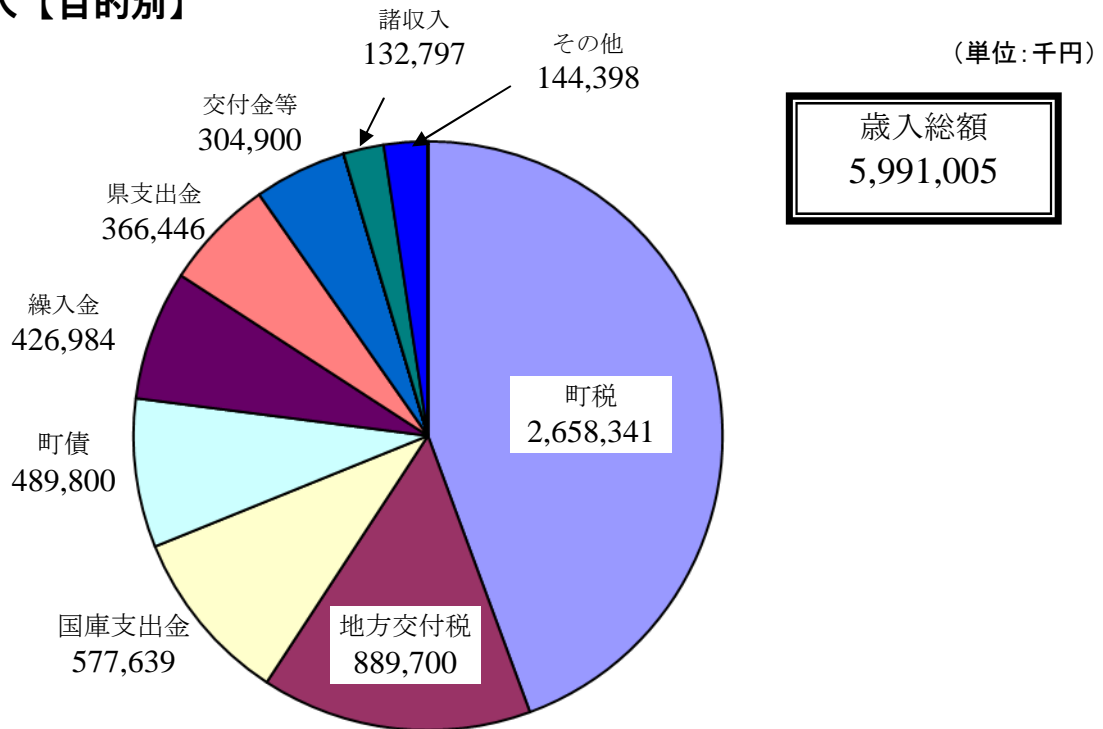


酒々井町

I 平成27年度の一般会計予算

平成27年度の一般会計の歳入歳出の予算を円グラフと表で現し、平成26年度の当初予算額との比較をしています。歳出は、目的別（表2：使用する目的別）と性質別（表3：使用する性質別）の2表で比較しました。

1. 歳入【目的別】



平成27年度一般会計予算歳入（表1）の主な内容については、次のとおりです。
歳入総額は、59億9,100万5千円となり、対前年度比1億2,770万円、2.2%の増加となりました。

町税については、個人住民税が景気の緩やかな回復基調を受け微増となり、法人町民税や固定資産税などは南部開発による企業進出により増加を見込んだことから、対前年度比1億4,641万9千円、5.8%増の26億5,834万1千円を見込みました。

地方譲与税及び各種交付金については、若干減少科目があるものの、ほぼ前年度並みを見込んだことから、交付金等全体で対前年度比340万円、1.1%減の3億490万円を見込みました。

地方交付税については、国の予算総額の減少と町税をはじめとする自主財源の増加による影響から、対前年度比9,930万円、10%減の8億8,970万円を見込みました。

国庫支出金については、子ども・子育て関係経費及び福祉関係の経費の増加により、対前年度比4,360万4千円、8.2%増の5億7,763万9千円となりました。

県支出金については、酒々井インターチェンジ関連道路県負担金の減少があるものの、公共施設再生可能エネルギー導入補助金の増加などにより対前年度比2,475万9千円、7.2%増の3億6,644万6千円となりました。

繰入金については、財源調整となる財政調整基金からの繰入が減少したものの、酒々井ちびっこ天国基金等からの繰入が増加した影響で、対前年度比305万1千円、0.7%増の

4億2,698万4千円となりました。

繰越金は、厳しい財政事情の中、歳出額を精査して最小限の予算としているため、前年度の歳計剰余金（前年度会計で余った資金）を前年度と同様に6,000万円程度と見込み、繰越金を3,000万円としています。〔歳計剰余金の2分の1以上は、財政調整基金に積み立てることとなっています。〕

町債については、臨時財政対策債が減少したものの、庁舎建設事業分が増加したことで対前年度比60万円、0.1%増の4億8,980万円となりました。

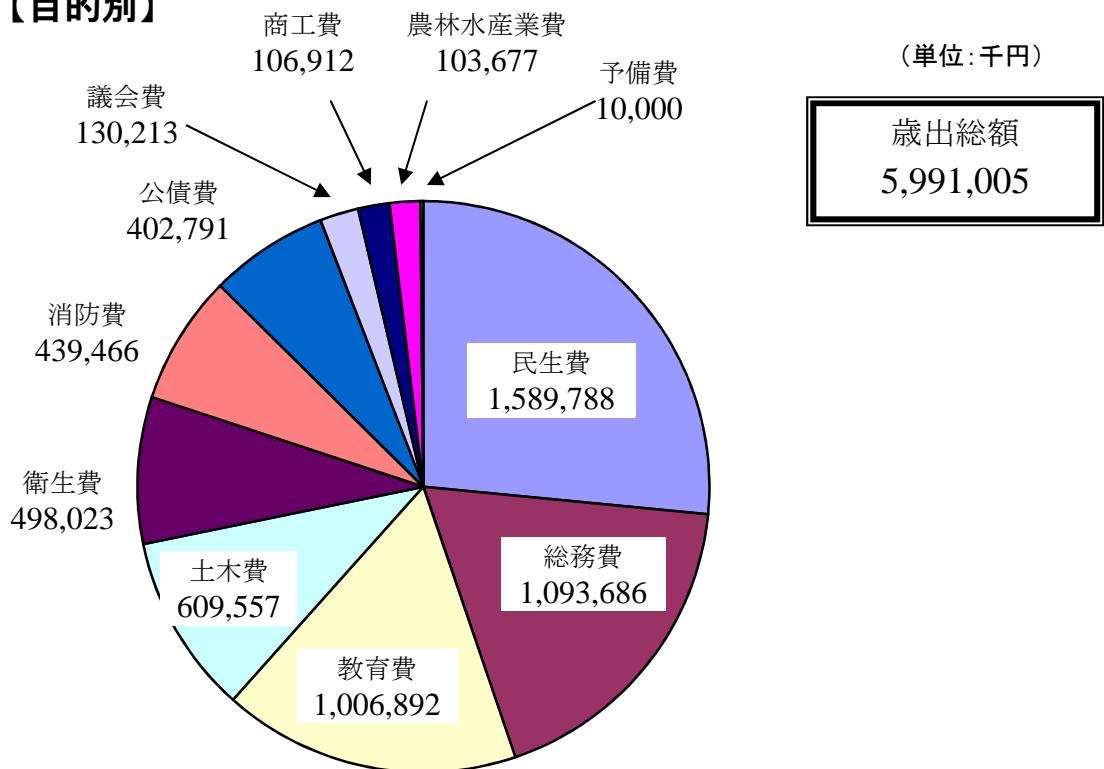
なお、地方消費税の税率引き上げ（平成26年4月～）の増収分は、全額社会保障費の財源に充当することになっています。

表1 平成27年度一般会計 歳入（目的別）

（単位：千円、%）

款	平成27年度 当初予算額	構成比	平成26年度 当初予算額	構成比	比較増減	伸率
1 町 税	2,658,341	44.4	2,511,922	42.8	146,419	5.8
2 地 方 譲 与 税	61,900	1.0	63,600	1.1	△ 1,700	△ 2.7
3 利 子 割 交 付 金	5,200	0.1	5,200	0.1	0	0.0
4 配 当 割 交 付 金	12,100	0.2	12,100	0.2	0	0.0
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	4,300	0.1	4,300	0.1	0	0.0
6 地 方 消 費 税 交 付 金	195,400	3.3	195,400	3.3	0	0.0
7 自 動 車 取 得 税 交 付 金	11,000	0.2	11,000	0.2	0	0.0
8 地 方 特 例 交 付 金	11,400	0.2	13,100	0.2	△ 1,700	△ 13.0
9 地 方 交 付 税	889,700	14.9	989,000	16.9	△ 99,300	△ 10.0
10 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	3,600	0.1	3,600	0.1	0	0.0
11 分 担 金 及 び 負 担 金	62,600	1.0	55,960	1.0	6,640	11.9
12 使 用 料 及 び 手 数 料	44,580	0.7	43,681	0.8	899	2.1
13 国 庫 支 出 金	577,639	9.6	534,035	9.1	43,604	8.2
14 県 支 出 金	366,446	6.1	341,687	5.8	24,759	7.2
15 財 産 収 入	7,016	0.1	4,960	0.1	2,056	41.5
16 寄 付 金	202	0.0	2	0.0	200	10,000.0
17 繰 入 金	426,984	7.1	423,933	7.2	3,051	0.7
18 繰 越 金	30,000	0.5	30,000	0.5	0	0.0
19 諸 収 入	132,797	2.2	130,625	2.2	2,172	1.7
20 町 債	489,800	8.2	489,200	8.3	600	0.1
合 計	5,991,005	100.0	5,863,305	100.0	127,700	2.2

2. 歳出【目的別】



平成27年度一般会計予算歳出(表2)の主な内容については、次のとおりです。

歳出の総額は、歳入と同額の59億9,100万5千円となり、対前年度比1億2,770万円、2.2%の増加となりました。

議会費は、議員共済費等の増加により、対前年度年比1,136万2千円、9.6%増の1億3,021万3千円となりました。

総務費については、職員人件費の減少要因があるものの、役場庁舎建設・改修工事等庁舎管理事業費8,266万3千円、法に基づく公有財産台帳整備等町有財産管理事業費1,756万9千円、国勢調査等各種統計調査事業費601万円及び町議会議員選挙費686万1千円の増加などにより対前年度比5,425万5千円、5.2%増の10億9,368万6千円となりました。

民生費については、青年館建て替え補助1,000万円及び児童手当支給事業549万5千円の減少、また、子ども・子育て支援事業1,039万1千円、保育委託4,850万5千円、総合支援給付事業2,019万円、国民健康保険特別会計繰出金893万7千円、介護保険特別会計繰出金622万1千円及び後期高齢者医療事業1,765万1千円の増加などにより対前年度比1億3,999万8千円、9.7%増の15億8,978万8千円となりました。

衛生費については、子ども医療費助成事業864万1千円、印旛衛生施設管理組合負担金295万7千円の減少、また、予防接種事業382万4千円、がん検診等健康増進事業230万8千円、印旛広域水道事業295万円の増加などにより対前年度比941万2千円、1.9%増の4億9,802万3千円となりました。

農林水産業費については、農業基盤整備事業1,001万5千円の増加により対前年度比133万9千円、1.3%増の1億367万7千円となりました。

商工費については商工会補助金200万円、観光事業270万9千円、酒々井ちびっこ天国運営事業649万2千円の増加、また、コミュニティプラザ屋外トイレ設置工事の減少により運営事業費204万5千円及び職員人件費の減少などにより対前年度比267万4千円、2.4%減の1億691万2千円となりました。

土木費については、新規事業としての安全通行のための狭あい道路拡幅整備400万円、住宅耐震事業321万円の増加、また、国の補助事業として社会資本整備総合交付金を利用した道路改良事業1億3,036万2千円、単独事業である道路改良事業5,096万9千円、下水道事業会計への繰出経費3,800万円の減少などにより対前年度比1億7,637万7千円、22.4%減の6億955万7千円となりました。

消防費については、消防団員の報酬手当の改正等による消防団事業421万4千円の増加、また、消防組合負担金929万6千円、消防団機庫整備等消防施設事業2,090万8千円の減少により対前年度比2,598万4千円、5.6%減の4億3,946万6千円となりました。

教育費については、酒々井中学校職員室床改修工事等施設整備事業1,351万7千円の減少、また、公民館耐震改修工事等管理事業6,332万2千円、酒々井小学校用地法面復旧工事及び各小学校職員室床改修工事等施設整備事業費2,166万7千円、本佐倉城跡整備事業3,039万8千円、新規事業として国史跡指定を目指した墨古沢南I遺跡保存整備事業935万6千円及び職員人件費の増加などにより対前年度比1億7,151万6千円20.5%増の10億689万2千円となりました。

公債費については、プレミアム酒々井償還額の減少などから、対前年度比5,514万7千円、12%減の4億279万1千円となりました。

表2 平成27年度一般会計 歳出（目的別）

（単位：千円、%）

款	平成27年度 当初予算額	構成比	平成26年度 当初予算額	構成比	比較増減	伸率
1 議会費	130,213	2.2	118,851	2.0	11,362	9.6
2 総務費	1,093,686	18.3	1,039,431	17.7	54,255	5.2
3 民生費	1,589,788	26.5	1,449,790	24.7	139,998	9.7
4 衛生費	498,023	8.3	488,611	8.3	9,412	1.9
5 農林水産業費	103,677	1.7	102,338	1.8	1,339	1.3
6 商工費	106,912	1.8	109,586	1.9	△ 2,674	△ 2.4
7 土木費	609,557	10.2	785,934	13.4	△ 176,377	△ 22.4
8 消防費	439,466	7.3	465,450	7.9	△ 25,984	△ 5.6
9 教育費	1,006,892	16.8	835,376	14.3	171,516	20.5
10 公債費	402,791	6.7	457,938	7.8	△ 55,147	△ 12.0
11 予備費	10,000	0.2	10,000	0.2	0	0.0
合計	5,991,005	100.0	5,863,305	100.0	127,700	2.2

表3 平成27年度一般会計 歳出（性質別）

（単位：千円、％）

項目	平成27年度 当初予算額	構成比	平成26年度 当初予算額	構成比	比較増減	伸率	
1 人件費	1,421,099	23.7	1,460,931	24.9	△ 39,832	△ 2.7	
2 扶助費	765,122	12.8	708,881	12.1	56,241	7.9	
3 公債費	402,791	6.7	457,938	7.8	△ 55,147	△ 12.0	
義務的経費小計	2,589,012	43.2	2,627,750	44.8	△ 38,738	△ 1.5	
4 物件費	1,111,131	18.5	975,238	16.6	135,893	13.9	
5 維持補修費	14,196	0.2	13,561	0.2	635	4.7	
6 補助費等	875,613	14.6	892,937	15.2	△ 17,324	△ 1.9	
経常的経費小計	4,589,952	76.6	4,509,486	76.9	80,466	1.8	
7 普通建設事業費	852,544	14.2	866,338	14.8	△ 13,794	△ 1.6	
内訳	補助事業費	406,020	6.8	396,981	6.8	9,039	2.3
	単独事業費	446,524	7.4	469,357	8.0	△ 22,833	△ 4.9
8 積立金	31,128	0.5	18,561	0.3	12,567	67.7	
9 投資及び出資金	9,614	0.2	5,508	0.1	4,106	74.5	
10 貸付金	3,000	0.0	3,000	0.0	0	0.0	
11 繰出金	494,767	8.3	450,412	7.7	44,355	9.8	
12 予備費	10,000	0.2	10,000	0.2	0	0.0	
合計	5,991,005	100.0	5,863,305	100.0	127,700	2.2	

性質別歳出（表3）を見ると、経常的経費のうち義務的経費では、扶助費が総合支援医療費や保育委託事業により増加しているものの、退職手当負担金等の減少により人件費が減少、公債費も、プリミエール酒々井建設に係る償還額が減少したことなどから、義務的経費は対前年度比3,873万8千円、1.5%減の25億8,901万2千円となりました。

物件費については、電気料金、臨時職員賃金、分庁舎建築に伴う備品購入費及び各種委託業務費が大きく増加したことで対前年度比1億3,589万3千円、13.9%増の11億1,113万1千円となりました。

補助費等は下水道事業への繰出経費の減少により対前年度比1,732万4千円、1.9%減の8億7,561万3千円となりました。

普通建設事業費については、役場庁舎関係工事費が大きく増加したが、国の補助事業である社会資本整備総合交付金を利用した道路改良等の事業の減少から、対前年度比1,379万4千円、1.6%減の8億5,254万4千円となりました。

積立金については、農業基盤整備事業基金積立金の増加により、対前年度比1,256万7千円、67.7%増の3,112万8千円となりました。

繰出金については、国民健康保険や介護保険等の増加から対前年度比4,435万5千円、9.8%増の4億9,476万7千円となりました。

II 各特別会計

各特別会計の予算状況は次のとおりです。各特別会計ともに増加していますが、特に国民健康保険特別会計は、制度の改正により大きく増加しています。

(単位:千円、%)

特別会計名	平成27年度 当初予算	平成26年度 当初予算	比較増減	伸率
国民健康保険特別会計	2,924,531	2,570,784	353,747	13.8
介護保険特別会計	1,133,359	1,073,875	59,484	5.5
後期高齢者医療特別会計	187,776	173,392	14,384	8.3
計	4,245,666	3,818,051	427,615	11.2

III 水道事業会計

水道事業会計は次のとおりです。独立採算制で経営されており、経営努力により経費の削減を図っていますが、今後施設等の老朽化から資本的支出の増加が見込まれます。

(単位:千円、%)

企業会計収支	平成27年度 当初予算	平成26年度 当初予算	比較増減	伸率
水道事業収益	565,088	564,937	151	0.0
営業収益	491,265	483,056	8,209	1.7
営業外収益	73,823	81,881	△ 8,058	△ 9.8
水道事業費用	551,736	522,728	29,008	5.5
営業費用	504,779	475,315	29,464	6.2
営業外費用	44,957	41,862	3,095	7.4
特別損失	0	3,551	△ 3,551	△ 100.0
予備費	2,000	2,000	0	0.0
資本的収入	5,509	7,345	△ 1,836	△ 25.0
分担金及び負担金	5,509	7,345	△ 1,836	△ 25.0
資本的支出	468,101	395,556	72,545	18.3
建設改良費	362,391	294,032	68,359	23.2
企業債償還金	103,710	99,524	4,186	4.2
予備費	2,000	2,000	0	0.0

IV 下水道事業会計

下水道事業は、平成26年度から地方公営企業法の一部（財務規定）を適用し、企業会計方式の会計に変更されました。

(単位:千円、%)

企業会計収支	平成27年度 当初予算	平成26年度 当初予算	比較増減	伸率
下水道事業収益	360,430	362,453	△ 2,023	△ 0.6
営業収益	285,740	282,953	2,787	1.0
営業外収益	74,690	79,500	△ 4,810	△ 6.1
下水道事業費用	455,031	458,553	△ 3,522	△ 0.8
営業費用	418,658	417,978	680	0.2
営業外費用	35,373	38,978	△ 3,605	△ 9.2
特別損失	0	597	△ 597	△ 100.0
予備費	1,000	1,000	0	0.0
資本的収入	60,704	119,044	△ 58,340	△ 49.0
企業債	13,600	27,200	△ 13,600	△ 50.0
補助金	46,791	91,275	△ 44,484	△ 48.7
負担金及び分担金	303	559	△ 256	△ 45.8
その他資本的支出	10	10	0	0.0
資本的支出	156,060	212,982	△ 56,922	△ 26.7
建設改良費	73,034	132,923	△ 59,889	△ 45.1
企業債償還金	81,960	78,993	2,967	3.8
その他資本的支出	66	66	0	0.0
予備費	1,000	1,000	0	0.0

V 町のローン残高（地方債の状況）

町債は、主に道路や施設等を整備するために町が借り入れるお金です。

過去の借金の返済は進んでいますが、近年は町が国の代わりに借金する「臨時財政対策債」の借入金残高が増加しています。

(単位:千円)

会計名	平成26年度末見込額	平成27年度中の増減	平成27年度末見込額
一般会計	4,929,030	140,193	5,069,223
水道事業会計	951,671	△ 103,710	847,961
下水道事業会計	1,004,773	△ 68,360	936,413
計	6,885,474	△ 31,877	6,853,597

VI 町の貯金残高（基金残高）

基金は、町が予算を編成する際の財源補てんや特定の目的のために積み立てている貯金です。個人で例えると財形貯蓄、住宅積立金、学資積立金などに当たり、後年度の資金需要や財源不足に備えるためのものです。

【一般会計】			(単位:千円)
基金名称	平成26年度末 見込額	平成27年度中 増減見込額	平成27年度末 見込額
1. 財政調整基金	1,076,004	△ 350,465	725,539
2. 減債基金	20,641	12	20,653
3. 都市開発基金	33,950	27	33,977
4. 地域福祉基金	62,084	24	62,108
5. 児童・生徒国際交流振興基金	23,475	△ 1,291	22,184
6. ちびっこ天国基金	198,073	△ 25,416	172,657
7. 農業基盤整備基金	98,516	20,074	118,590
8. 東日本大震災復興基金	15,951	△ 6,384	9,567
9. 社会資本等整備基金	80,053	46	80,099
10. ふるさと基金	0	200	200
11. 土地開発基金	9,744	1	9,745
計	1,618,491	△ 363,172	1,255,319
【国民健康保険特別会計】			(単位:千円)
基金名称	平成26年度末 見込額	平成27年度中 増減見込額	平成27年度末 見込額
1. 財政調整基金	151,799	△ 77,517	74,282
2. 高額療養費貸付基金	3,000	0	3,000
計	154,799	△ 77,517	77,282
【介護保険特別会計】			(単位:千円)
基金名称	平成26年度末 見込額	平成27年度中 増減見込額	平成27年度末 見込額
1. 介護給付費準備基金	235,306	△ 3,166	232,140
【下水道事業会計】			(単位:千円)
基金名称	平成26年度末 見込額	平成27年度中 増減見込額	平成27年度末 見込額
1. 下水道事業基金	86,940	△ 34	86,906

※平成26年度末見込額は、平成27年度予算編成時点での見込額となりますので、実際の基金額とは異なる場合があります。

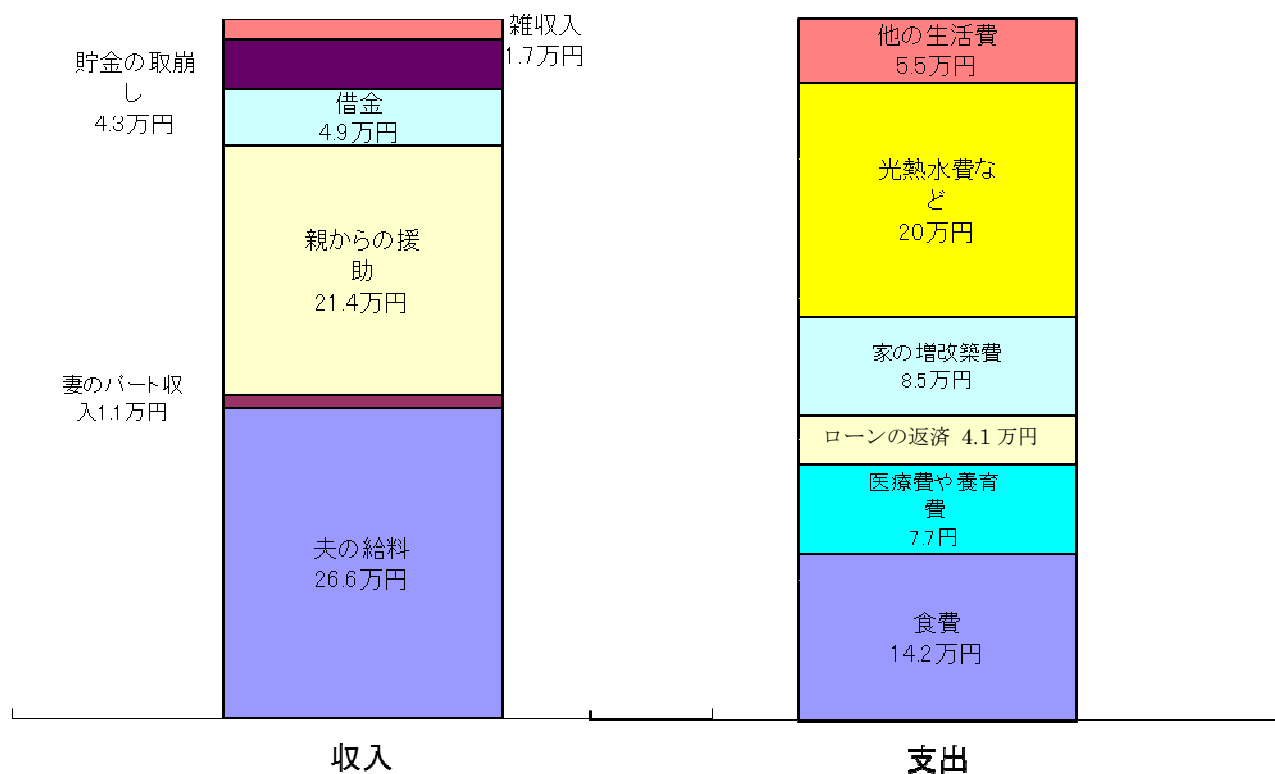
VII 平成27年度の酒々井さん家の家計

平成27年度一般会計の予算案について、1億円を1万円に置き換えてひと月の家計のやりくりに例えてみました。(1か月の家計60万円)

酒々井さんの月収(町税収入)は26万6千円で、昨年度から1万5千円の給料アップとなりそうです。そして、奥さんのパート収入(施設使用料、手数料など)は1万1千円でほぼ同額ですが、親からの援助(交付税、国・県補助金など)は21万4千円で、昨年度から3千円減ることになりそうです。不足分は、貯金の取り崩し(基金繰入金など)、さらに借金(町債)をして家計をやりくりしています。

食費(給料、報酬などの人件費)は昨年度から4千円節約しましたが、医療費や養育費(医療費助成や児童手当などの扶助費)は6千円、光熱水費などは2万1千円増え、さらに、家の老朽化による増改築費(道路などの建設改良費)は1千円減ることになりましたが、家計のやりくりは昨年同様大変になりそうです。

過去の借金(町債残高)は49万3千円から1万4千円増えて50万7千円になる見込みですが、月々の返済額は4万6千円から5千円減り、4万1千円になる見込みです。



VIII 平成27年度の国から町への財源補てん（親からの援助）

すべての地方団体が一定の行政サービスを提供できるよう財源を保障するため、地方の固有財源として地方交付税が配分されています。しかしながら、国の三位一体の改革などによって地方交付税の一部が「減税補てん債（平成18年度をもって制度廃止）」や「臨時財政対策債」などの借入金に振り替えられています。

平成27年度の国からの財源補てんについて、地方交付税と臨時財政対策債への振替などにより、11億4,500万円を見込んでいます。

町税などの自主財源が増加傾向にあることから、国からの補てん額の総額は減少傾向にあります。

国からの財源補てんの推移

単位：百万円

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
普通交付税	553	623	698	771	897	1,005	998	957	816	800
特別交付税	83	79	103	110	124	150	167	143	70	90
減税補てん債	25									
臨時財政対策債	258	235	220	321	427	390	389	390	315	255
計	919	937	1,021	1,202	1,448	1,545	1,554	1,490	1,201	1,145

※ 平成18年度から平成25年度までは決算額で、平成26年度は決算見込額、平成27年度は予算額です。